

# 若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

とうまちょう

## No. ー 2 : 北海道当麻町 (人口 : 7, 212人)

### (1) 最寄りの交通機関と所要時間

受け入れ主体の当麻町(農林課)庁舎所在地まで、旭川空港から自家用車で30分、または、JR石北線当麻駅下車徒歩1分

### (2) 事業実施の目的等

インターン生の皆さんには、広大な当麻町の各所にて、まずは様々な体験活動に取り組んでいただきます。そこで、この町の人と仕事を知り、自然や風土を感じ、それらあらゆるものとの語らいの中から、この町ならではの魅力を感じ取っていただきたいと考えています。

さらに、その魅力を生かした新たな地域づくりとは何か、それを実現するためには何をどうすべきか、この町の生活者とは異なる視点・見方で、臆することなく率直な提言をいただき、今後の新たなまちづくりの一助とさせていただきますことを期待しています。

また、皆さんにとって、この当麻町が第2の故郷となるような人と人との関係が生まれ、それにより互いが刺激を受け、または癒され、その交流が研修終了後も継続されることで再び双方を高めていく、そのきっかけとなることを念願しています。

### (3) 体験の内容

農業体験……北海道一の米産地であるとともに、施設野菜や花の栽培が盛んな当麻町の基幹産業である農業について、作物の栽培から出荷までの農家が行う一連の作業を行います。

福祉体験……国内におけるノーマライゼーション運動を牽引する(福)当麻かたるべの森の知的障害者授産施設にて、補助スタッフとして利用者の支援に当たるとともに、22haの面積を有する同法人所有の森「かたるべの森」の整備作業及び事業運営を行います。

資源調査……上記体験分野をはじめ、町内にあるもの全てを対象として、町職員と一緒に資源調査を行い、その利活用方法についても検討します。なお、この調査から検討、さらには評価に至る過程の中で、出来る限りたくさんの方々と語れる場を設ける予定です。それと絡めた体験活動を臨機応変に設定したいと考えています。

地域行事参画……地域で行われる大小行事のスタッフとして、その運営に当たってもらいます。

体験報告会……幅広く町民に参集願ひ、体験調査活動の報告会を行います。

### (4) 受入主体

当麻町

### (5) 受入期間

7月下旬から8月下旬までか、8月上旬から8月下旬までの3週間から4週間で調整

### (6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費・食事代：自己負担はなし
①要件	20歳代の都市圏に在住する大学生・大学院生で、生産活動としての農業をはじめ、グリーンツーリズムや農の福祉力等、農業や自然環境を生かした地域づくりに関心があり、農作業等の労働を苦にしない、積極的に地域に入っていける健康で明るい方。募集人員は2名で性別は問いません。
②応募締切り	6月24日(金)必着。別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送願ひます。
③宿泊施設	ファームステイ、民泊、当麻かたるべの森「かたるべホール」
④食事形態	自己負担はなし
⑤その他	受入期間並びに詳細等、何なりとご相談に応じますので、電話、FAX、メールで担当者までお問い合わせください。また、ご希望の方には、当麻町と体験内容に関わる簡単なリーフレット等を送付しますので、お気軽に連絡願ひます。

### (7) 地域担当者から一言

大きな自治体ではかなわない変革が、小回りのきく小さなまちでは可能な場合があります。皆さんの吹き込む新しい風が、大雪山の麓に広がるこの町を、さらにより良い方向へ運んでくれることを期待しています。また、皆さんにとっても長い滞在日数を費やすだけの意味合いを持つ、価値あるターニングポイントにこの交流がなるよう、誠意ある対応を心がけるつもりです。当麻町は開拓の鍬が下ろされ高々120年、皆さんと新しい歴史を創っていけたらと思います。

### (8) お問い合わせ先

自治体名	当麻町	担当部署	農林課 農政係
(ふりがな)	はやし けんじ	TEL	: 0166-84-2123
担当者氏名	林 憲 治	FAX	: 0166-84-4125
E-mail	: hayashi-k@town.tohma.hokkaido.jp		
URL	: http://town.tohma.hokkaido.jp		
応募宛先	〒078-1314 北海道上川郡当麻町4条東3丁目4番63号 当麻町役場農林課		